

TCPLink  
ETOS エミュレータ  
Ver5.03-02  
リリースメモ

作成日：2018年 1月  
キャノン IT ソリューションズ株式会社

Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

## 目次

[Ver.5.03-02 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.5.03-02 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	以下の OS に対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2016 Standard Edition</li> <li>・ Windows Server 2016 Datacenter Edition</li> </ul>	機能追加	システム全般
2	以下の OS を動作対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Vista Business (x86, x64)</li> <li>・ Windows Vista Enterprise (x86, x64)</li> <li>・ Windows Vista Ultimate (x86, x64)</li> </ul>	仕様変更	システム全般
3	「高度な設定」の「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスプローラ
4	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
5	罫線が表示されない現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
6	EHLLAPI を使用したアプリケーションの起動が遅くなる場合がある現象を修正	バグ修正	API 機能
7	マクロ記録の一時停止中にマクロ中止機能を実行すると、マクロコントローラが終了しない現象を修正	バグ修正	マクロ
8	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正	バグ修正	ツール

No.3	「高度な設定」の「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正
発生条件	ホストリンクエクスプローラのプロパティにある「高度な設定」の「カスタマイズ」タブで、「エミュレータのプロパティ」の表示」のチェックがオフの場合。
障害内容	プロパティが選択できてしまう。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.4	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正
発生条件	「MS 明朝」のようなセリフ付きフォントが選択されている場合。
障害内容	ディスプレイの表示文字を拡大すると文字が粗く見える。
アップデート 未実施時の 回避策	フォントを「MS ゴシック」のようなセリフなしフォントに変更する。

No.5	罫線が表示されない現象を修正
発生条件	以下のようなデータをホストから受信した場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Write コマンドの CP2 でアトリビュート非占有モード指定</li> <li>・ 以前に受信した Write コマンド内の SF2 特殊文字で罫線を指定した位置に、SF1 特殊文字+文字指定</li> </ul>
障害内容	罫線が表示されない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

<b>No.6</b>	<b>EHLLAPI を使用したアプリケーションの起動が遅くなる場合がある現象を修正</b>
発生条件	EHLLAPI を使用している場合。
障害内容	EHLLAPI モジュールは起動時に EHLLAPI トレースモジュールと通信を行っているが、この通信に時間がかかることがあり、起動が遅くなる。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

<b>No.7</b>	<b>マクロ記録の一時停止中にマクロ中止機能を実行すると、マクロコントローラが終了しない現象を修正</b>
発生条件	他のマクロが再生していない状態で以下の手順を行った場合。 ①マクロコントローラが起動していない状態で、ディスプレイセッションからマクロ記録開始 ②「マクロ記録」中に「一時停止」し、そのまま「マクロ中止」
障害内容	マクロ記録を一時停止中にマクロ中止機能を実行すると、マクロコントローラが終了しない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

<b>No.8</b>	<b>コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正</b>
発生条件	コードテーブル設定で以下の手順を実行した場合。 ① テーブルの最後の数文字（2 バイトコード：2 文字、1 バイトコード：4 文字）の割り当てを変更 ② 「ファイル」メニューから「新規作成」を選択して差分ファイルを新規作成
障害内容	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう。
アップデート 未実施時の 回避策	「新規作成」で継続して設定を行う代わりに、一旦コードテーブル設定を再起動してから設定を行う。